

科目名	オートクチュール技術Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	270	作成者	大西 智子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し、基本的な縫製技術から高度な縫製技術までを修得し、美しいシルエット作りや体型、素材に応じたパターン作成、縫製が出来る人材の育成

【科目の概要】

それぞれの体型に合った服作りの根源を見直し、基本的な縫製技術を踏まえた上で、高級な素材での高度な裁断、縫製技術を修得し、各個人の身体に合った美しいシルエットに仕上げる為の平面パターン及びドレーピング技術にて立体的なシルエット作り、的確なパターン作成を修得する

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
	A (4コマ/W×15) テーラードスーツ		A (4コマ/W×15) テーラードスーツ
1～7	テーラードスーツ 寒冷紗本身仮縫い、後の補正・パターン作成、布印しつけ	76～82	テーラードスーツ 見返し釦ホール、ポケット作り、ポケットつけ、袖作り
8～15	テーラードスーツ オーガンをテープ、芯すえ、くせ取り、衿づくり、組み立て	83～90	テーラードスーツ ベルト、ファスナー付け、裾始末、再仮縫い
16～22	テーラードスーツ 本布仮縫い、後の補正、ダーツ 脇線 地縫い、始末	91～97	テーラードスーツ 裏地縫い合わせ、袖地縫い、衿つけ、肩パッドつけ
23～30	テーラードスーツ 衿、芯、テープ、胸、肩増し芯、裏地裁断、地縫い、虫どめ	98～105	テーラードスーツ 裏地縫い合わせ、提出
	B (6コマ/W×15) ケミカルレースのボレロファンデーション、サッシュベルト		B (4コマ/W×15) ファンデーションベルベットワンピース
31～35	ケミカルレースのボレロ 製図、寒冷紗半身仮縫い、地直し	106～108	ファンデーション 組立て、本仮縫い
36～40	ケミカルレースのボレロ 寒冷紗両身組立て、テープ、地の目し、仮縫い、後補正、印つけ	109～112	ファンデーション 後補正、本縫い、縫い代かがり、テープボーンテープ
41～45	ケミカルレースのボレロ テープ貼り、本布仮縫い、仮縫い後補正	113～116	ファンデーション ファスナーつけ、グログランテープ裾まつり、仕上げ、提出
46～50	ケミカルレースのボレロ 縫製	117～120	ベルベットワンピース 製図、寒冷紗半身仮縫い、地直し、両身組立て、テープ地の目
51～55	ケミカルレースのボレロ 縫製	121～124	ベルベットワンピース 寒冷紗両身仮縫い、後補正、印つけ、芯据え、テープ
56～60	ケミカルレースのボレロ 再仮縫い、スカラップつけ	125～128	ベルベットワンピース 本布仮縫い、後補正、見返し、裏地裁断
61～65	ケミカルレースのボレロ 提出	129～131	ベルベットワンピース 縫製
66～70	サッシュベルト・ファンデーション 製図、裁断、縫製、提出/寒冷紗半身仮縫い、布地直し	132～135	ベルベットワンピース 提出
71～75	ファンデーション 寒冷紗両身仮縫い、テープ、補正、印つけ、ボーンテープ		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
 教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』 プリント配布

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式 筆記用具
 実物作品、部分縫い見本

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 80%
時間数	120	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

既製服(Ready to wear)のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。

【科目の概要】

ファッション産業において生産拠点は海外に移行している時代ではあるが、オリジナルデザインの製作技術の伝承は不可欠である。本授業では色々な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。各自の創作性を生かした作品を製作発表する

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
	<p>プレタポルテ展示会作品</p> <p>1・2 製図・トワール組み</p> <p>3・4 トワール組みチェック・パターン修正</p> <p>5・6 審査後の補正・裁断</p> <p>7・8 裁断・実物組み立て</p> <p>9・10 縫製</p> <p>11・12 縫製</p> <p>13・14 縫製</p> <p>15・16 縫製・仕上げ</p> <p>子供服ドレス</p> <p>17・18 裁断・縫製仕様書指示書作成・縫製</p> <p>19・20 縫製</p> <p>21・22 縫製</p> <p>23・24 縫製</p> <p>25・26 まとめ・発表・提出</p> <p>RTWスカート</p> <p>27・28 パターン作成・裁断・縫製</p> <p>29・30 縫製</p>	<p>RTWスカート</p> <p>31・32 縫製</p> <p>33・34 縫製・仕上げ・提出</p> <p>上田学園コレクション作品</p> <p>35・36 製図・トワール組み立て</p> <p>37・38 トワール組みチェック・パターン修正</p> <p>39・40 修正・裁断・仮縫い組み立て</p> <p>41・42 補正・実物組み立て</p> <p>43・44 縫製</p> <p>45・46 縫製</p> <p>47・48 縫製</p> <p>49・50 仕上げ・まとめ</p> <p>レザー作品</p> <p>51・52 製図・トワール組み・補正・縫代付きパターン作成</p> <p>53・54 裁断・縫製</p> <p>55・56 縫製</p> <p>57・58 縫製</p> <p>59・60 まとめ・発表・提出</p>

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
『スカート』『ブラウス』『ワンピース』『パンツ』『ジャケット』『コート』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、各自サイズのボディ

科目名	パターンキング ^(含むP. グレーディング)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートオートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、デザイン・シルエットを表現したパターンの作成から工業用パターンの作成までを修得。

女子衣料の規格サイズを理解。既制服のサイズ展開の基本知識を養う

【科目の概要】

ファッション産業において海外に生産を移行している時代、オリジナルデザイン・シルエットを表現できる技術は、確かなパターン力によるところが大きい。本授業では基本パターンの製図から各種デザインパターンへ理論的に展開し、トワールチェック後、工業パターン作成までの方法の修得、また基本のアイテムのサイズ展開の方法を修得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	1本ダーツ2本ダーツスカート サーキュラスカート・デザインスカート I 作図・つながり補正		31・32 製品研究Ⅱ(ワンピース) 作図・トワール組み立てチェック
3・4	デザインスカート I 作図・トワール組み立てチェック		33・34 製品研究Ⅱ(ワンピース) 補正・レポート作成
5・6	デザインスカート I 補正・工業用パターン作成		35・36 ジャケット 襟折れ奥ダーツ・袖山ギャザー 作図・トワール組み立て
7・8	グレーディング <概論> <タイトスカート2本ダーツ>		37・38 ジャケット 襟折れ奥ダーツ・袖山ギャザー トワール組み立てチェック
9・10	グレーディング <前後身頃・襟・袖>		39・40 ジャケット 襟折れ奥ダーツ・袖山ギャザー 裏地パターン作成
11・12	創作子供服 デザイン出し・作図 トワール組み立て・縫製仕様書		41・42 ラグランスリーブのコート 月腰襟の作図・トワール組み立てチェック
13・14	創作子供服 トワールチェック・補正・工業用パターン作成		43・44 ラグランスリーブのコート 補正・縫製仕様書
15・16	ジャケット (テーラードマニピレーション) 作図・トワール組み立てチェック		45・46 メンズジャケット マスターパターン
17・18	ジャケット (テーラードマニピレーション) トワール組み立てチェック・補正・パターン作成	47	CAD ジャケット製図(表地作図)
19・20	ジャケット (テーラードマニピレーション) 表襟・見返しパターン作成 工業用パターン作成	48	CAD ジャケット製図(表地作図)
21・22	製品研究Ⅰ<ブラウス> 作図・トワール組み立てチェック	49	CAD ジャケット製図(表地作図)
23・24	製品研究Ⅰ<ブラウス> 補正・パターン作成	50	CAD ジャケット製図(表地作図)
25・26	ハイネックジャケット 作図・トワール組み立てチェック	51	CAD ジャケット製図(裏地作成)
27・28	ハイネックジャケット 補正・工業用パターン作成	52	CAD ジャケット製図(芯地作成)
29・30	前期テスト	53	CAD ジャケット マーキング・縫製仕様書・指示書
		54	CAD ジャケット マーキング・縫製仕様書・指示書
		55・56	製品研究Ⅲ(デザイナーのデザイン画より) 作図・トワール組み立て
		57・58	製品研究Ⅲ(デザイナーのデザイン画より) トワール組み立てチェック・補正
		59	製品研究Ⅲ(デザイナーのデザイン画より) 補正・縮尺製図付きレポート作成
		60	後期テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

江副玲子『ドレーピング3年』最新版 山路俊美『紳士服製図・型紙の作り方』

相尾純子『パターングレーディング』 実物見本 オリジナルプリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせた的確な厚さの物)

シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ドレーピングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	渡辺杉子

【科目の到達目標】

各種デザインのディテール、シルエットを表現するテクニックを習得。
服のフォルムに対しての感性を高める。

【科目の概要】

ボディを使用しての立体裁断。
トワールを使用し立体によるデザイン表現を指導、
正確にパターンに落とし込めるよう指導。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	ドレーピング概論	31・32 創作作品
3・4	ドレープ襟のコート	33・34 ↓
5・6	バックにフリルのあるスカート	35・36 ツィストドレープのブラウス
7・8	↓	37・38 ↓
9・10	カウルネックの入ったブラウス	39・40 ペザントブラウス
11・12	↓	41・42 ↓
13・14	ショルダー切り替え・テーラードカラー	43・44 ギブソン・ガール・ブラウス
15・16	1枚袖 ジャケット	45・46 ↓
17・18	プリンセス切り替え・ショールカラー	47・48 ビスチェ
19・20	2枚袖 ジャケット	49・50 ↓
21・22	ジャケット 3面体	51・52 ロングドレス
23・24	↓	53・54 ↓
25・26	変わりテーラード ワンピース	55・56 創作ドレス
27・28	↓	57・58 ↓
29・30	テスト	59・60 テスト

【成績評価方法】

立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題評価60% 試験評価 30%
授業研究態度10%
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

ドレーピング3年江副玲子

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	60	作成者	濱屋 但

【科目の到達目標】

授業メニューを通して、発想力・表現力・分析力・計画性などを身につける

【科目の概要】

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンド、発想などをプラスして表現する

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	デザイン発想
2	コラボコンテスト	17	デザイン発想
3	コラボコンテスト	18	デザイン発想
4	プレゼンテーション	19	デザイン発想
5	コラボコンテスト	20	プレゼンテーション
6	コラボコンテスト	21	デザイン発想
7	プレゼンテーション	22	デザイン発想
8	外部コンテスト	23	プレゼンテーション
9	外部コンテスト	24	上田コレクション出品作品より
10	外部コンテスト	25	上田コレクション出品作品より
11	外部コンテスト	26	上田コレクション出品作品より
12	上田コレクションデザイン画	27	上田コレクション出品作品より
13	上田コレクションデザイン画	28	プレゼンテーション
14	デザイン画選手権	29	まとめ
15	まとめ	30	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』グラフィック社

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 ファッション雑誌 他

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

学んだことを主体的に、創造的で適切な方法で研究し応用し、技術・素材・イメージ・色彩に対して想像力を発揮し、独自に探求するスキルを身に付ける。また、主体的な行動し時間の管理と自己評価を意識しポジティブに活動す

【科目の概要】

ポートフォリオの作成を通して、トレンドファッションの美意識を読み解き、改変して市場性のある方法で、□ライフスタイルに適したかたちで商品化計画を行いプレゼンテーション用のドキュメントを完成させる。

【授業計画】 90/コマ	前期	【授業計画】 90/コマ	後期
1	自己PR表作成	16	ポートフォリオの拡張とWGSNのトレンド情報活用
2	ポートフォリオの考え方とWGSNの利用方法	17	ブリーフ要素:(例) ◇トレンドアイテム表作成 ◇トレンドコーディネート表作成 ・物撮り撮影方法とレイアウト(3タイプ) ・Excelの基本操作と関数の基礎 ・Illustrator&Photoshop(復習)
3	ポートフォリオ編集の基本とグリッドの設計	18	
4	Illustrator&Photoshop 復習	19	
5	ブリーフ要素:(例)ブラウス、ジャケット	20	
6	◇縫製仕様書	21	
7	◇ハンガーイラスト作成□	22	
8	◇製図(表地、裏地、芯地)□	23	
9	◇パターンチェック 情報入力 縫代付け	24	
10	◇マーキング 縫製指示書	25	
11	◇生地サンプル及び作成した生地	26	
12	◇リサーチとインスピレーション	27	
13	◇デザインと編集	28	
14	◇プロトタイプ(試作)と改良	29	
15	完成(プレゼンテーションとドキュメント)データ	30	
			テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【参考書】

『Fashion Design: 3rd edition(Portfolio) 2011 Laurence King (ASIN : B00KS1QJ24)』,
 『ファッション・デザイン・ハンドブック, ファッションMOTプロジェクト研究報告書, 2009』

【教材・教具】

プリント or PDF配布 メモ用筆記具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 % 実習 0 %
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者をを目指す。

【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。

【授業計画】 90分/コマ	前期	後期
		第1週 第1章 アパレル産業の歴史と変遷 第11章 世界と日本の繊維生産
		第2週 第2章 アパレル製品の商品企画
		第3週 第3章 アパレル製品の副資材 - 1
		第4週 第3章 アパレル製品の副資材 - 2
		第5週 各論 第3章 スポーツウエア
		第6週 第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査
		第7週 第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工
		第8週 各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下
		第9週 第6章 アパレル製品の検査 と品質管理
		第10週 第7章 アパレル製品の安全・安心
		第11週 各論 第1章 紳士服 - 1
		第12週 第8章 アパレルの表示と関連法規
		第13週 第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス
		第14週 各論 第1章 紳士服 - 2 各論 第2章 婦人服
		第15週 第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応

【成績評価方法】

毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%

【教科書・参考書】

編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、
発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日

【教材・教具】

筆記用具

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	高瀬博文

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリズム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	秦野知邦

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
- ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
- ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える。
グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。
最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 世界のコレクションとプロモーションについて
- 2 即戦力⇒企業が求める人材とは
- 3 プロフェッショナルについて
- 4 セレクト系・メーカー系・グローバル系SPA
- 5 タイプ別SPAのショップをリサーチする
- 6 タイプ別SPAを比較して分析する
- 7 就活用としてのリサーチ資料を作成
- 8 資料内容をグループミーティングでプレゼン
- 9 ファッションビジネスのトレンドを追う
- 10 ファッションビジネスのトレンドを検証する
- 11 ファッションブランド戦略について
- 12 ブランディング・ブランドエクイティについて
- 13 即戦力としての計数知識
- 14 仕事への自覚と準備
- 15 テスト

【成績評価方法】

- ・ 授業における評価 40%
- ・ プレゼンテーション 30%
- ・ 期末試験 30%

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具